

「創立者を偲ぶ会」に寄せて

校長 内山 茂



本年度の「創立者を偲ぶ会」が9月5日(金)に行われる。本校創立者・田中 嵩(たかし)先生は昭和41年に弱冠38歳で日野町(現在ララコープがある地)に佐世保実業高校を創立された。当時、私たちには想像もできない艱難辛苦があられたことと思う。先生は座右の銘「一つを以て之を貫く」の信念のもとに学校創立を実現され、佐世保実業高校の礎を築かれた。その後も先生の率先垂範により、建学の精神「真面目な近代産業人の育成」を教育目標に掲げ、県北における私学の雄として発展を遂げた現在の本校の姿がある。

しかし、田中嵩先生は、現在の母ヶ浦の地に新校舎が完成し、その移転作業が終了して間もない平成7年9月5日に67歳という若さでご逝去された。新校舎で学園葬が営まれているが、その記録を読むと、先生がいかにも人格高潔で、生徒・教職員への愛情に満ち溢れ、世人の尊崇を受けられた偉大な人物であられたかがうかがい知ることができる。

その後、胸像が建立され、先生は、今も温かく本校を見守っておられる。先生の本校並びに本校生・教職員に対する深い思いを「創立者を偲ぶ会」において伝えたい。

8月9日「平和学習」で原爆の記憶を繋ぐ

8月9日(土)、台風接近による天候に影響されましたが、無事、「平和集会」を実施することができました。昭和20年8月9日午前11時2分。8月6日の広島に続き、私たちの故郷、長崎にも原爆が投下され、合計148,793人が犠牲者となりました。

戦争を知らない現代の子どもたちに被爆体験を語り継ぐことで、二度と戦争が繰り返されないよう、これからも一人ひとりが平和の大切さを認識して欲しいと思います。

平成26年度「オープンスクール」に546名が参加

7月23日(水)、8月5日(火)に第1回、第2回オープンスクールを開催しました。中学生401名、保護者・引率の先生145名の計546名の参加を得て、各科の模擬授業や部活動体験等を実施しました。各科の体験や部活動体験等、楽しそうに参加している中学生たちの姿が印象的でした。次回、第3回オープンスクールは、10月11日(土)に予定しています。

「就職・進学合宿」を実施 — 今が正念場!

7月24日(木)~29日(火)までの4日間、3年生を対象に「就職・進学合宿」を実施しました。この期間、外部講師を招き「基礎学力の定着」・「試験対応の面接・作文指導」・「社会人としてのマナー・エチケット」等の指導を行いました。社会人としての必要なスキルを身に付けることができ、生徒たちにも好評でした。

1・2年生は、今後のために、家庭学習を習慣化し、学力の向上に努めてください。

また、進路指導部では、関東・中京・関西・中国・九州・県内・市内地区の企業訪問を行いました。雇用延長の実施や為替レートの動き等が理由で、採用を控える業種もある中、東京オリンピック開催決定など景気上昇の動きもありました。訪問先の人事担当者からは、採用条件について以下のような声を聞くことができました。

- (1) 欠席をしない生徒(特別な理由を除く)
- (2) 元気ある挨拶ができ、コミュニケーション能力が身につけている生徒
- (3) 前向きに仕事に取り組み、長く続ける覚悟のある生徒



【中濱 儀博 第3学年部長からのコメント】

高校生活最後の夏休みも終わり、いよいよ就職試験も目前となりました。3年生の皆さんがそれぞれの目標に向かって精一杯努力している姿がみられます。進路実現に向けて今後も第2回就職・進学合宿、模擬面接指導、進路激励会を実施します。

これまでの指導を活かして万全の態勢で試験に臨み、実力を発揮して目標達成することを願っています。絶対に諦めないで、最後まで頑張ろう!



平成26年度4月~7月の学校経営総括

7月までの学校経営を学校評価からみると、生徒アンケートは大半のアンケート項目において向上しています。特に、「一日の学習時間」「自励タイム」「佐実生としての誇り」の向上が見られます。ただ、2学年では数値低下の項目が目立ちます。生活全般では、特別指導を要した生徒数が昨年半数に減少はしていますが、授業中の態度、休み時間の落ち着きの無さ、出席率等に関して課題があります。

今後は、反省点を改善するために、後期に向けて具体的な対策を実施することとしています。